

■都市再生整備計画「榎戸駅前周辺地区」指標について

指標名	指標の概要	従前値の計測方法	対応する目標			関連する事業	目標との関係	従前値		目標値		目標値の求め方	評価値の計測方法	
			①駅及び駅前における交通利便性の向上	②交通安全性の向上及び防犯施設の充実	③住民活動の促進			年月	数値	年月	数値			
1	駅周辺の交通利便性に関する満足度	榎戸駅利用者の利便性に関する満足度の向上を目指す	平成25年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収593名)に対するアンケート調査により、2-1~2-4の問い(3段階評価)に対して、移動の不便や大変さを感じていると答えた人の割合(不満足)を求め、その数字を100から返す。 従前値:100%-78%(不満足)=22%(満足度)	○			・基幹:道路 市道104号線 ・基幹:道路 駅西口広場 ・基幹:道路 駅東口駅前 ・基幹:地域生活基盤施設 東西自由通路 ・関連:榎戸駅橋上化	・アンケートにより、直接的に利便性に関する満足度が目標1の達成の把握にもつながる。	H25.9	22%	H31.3	36%	平成25年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収593名)に対して行ったアンケート調査のうち、移動の不便や大変さに関する2-1~2-4の問い(3段階評価)で、「どちらでもない」と答えた人の割合が、満足に転じるものとして設定。 目標値:22%(従前満足度)+14%(従前どちらでもないと答えた割合)=36%	平成30年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収100名以上)に対するアンケート調査により、利便性に関する問い(3段階評価)に対して不便や大変さを感じていると答えた人の割合(不満足)を求め、その数字を100から返す。
2	駅周辺の安全性に関する満足度	榎戸駅利用者の安全性に関する満足度の向上を目指す	平成25年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収100名以上)に対するアンケート調査により、2-5~2-6の問い(3段階評価)に対して、安全性に課題を感じていると答えた人の割合(不満足)を求め、その数字を100から返す。 従前値:100%-85%(不満足)=15%(満足度)		○		・基幹:道路 市道104号線 ・基幹:地域生活基盤施設 東西自由通路 ・関連:榎戸駅橋上化 ・提案:地域創造支援事業 防犯灯設置	・アンケートにより、直接的に安全性に関する満足度が目標2の達成の把握につながる。	H25.9	15%	H31.3	25%	平成25年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収100名以上)に対して行ったアンケート調査のうち、安全性に関する2-5~2-6の問い(3段階評価)で、「どちらでもない」と答えた人の割合が、満足に転じるものとして設定。 目標値:15%(従前満足度)+10%(従前どちらでもないと答えた割合)=25%	平成30年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収100名以上)に対するアンケート調査により、安全性に関する問い(3段階評価)に対して不便や大変さを感じていると答えた人の割合(不満足)を求め、その数字を100から返す。
3	まちづくり活動参加者数	計画区域内で行われた住民によるまちづくり活動の年間参加者数の増加を目指す	平成24年度中に、計画区域内で行われた住民活動(交通安全や防災・防犯活動、まちづくりに関する活動)への参加者数延べ人数を、防災課及び都市整備課で把握する活動状況報告において確認する。 通学パトロール: 泉台1人/日(20人/月)、みどり台4人/日(80人/月) 年間参加者数 (20+80)人/月×10ヶ月=1,000人 ※長期休暇(夏休み等)の2ヶ月分を考慮し年間参加者数を算出 夜間パトロール: 泉台10人/週(40人/月)、みどり台3人/月 年間参加者数 (40+3)人/月×12ヶ月=516人 従前値: $\frac{1,000}{通学} + \frac{516}{夜間} = 1,516人/年$		○	○	・提案:まちづくり活動推進事業 まちづくり活動支援 防災防犯活動等支援	・安全性に関する活動の参加者数の増減により、関心の度合いが図れるため、目標2の達成の把握につながる。 ・また、市民意識の高まりが、まちの活性化にもつながるため、目標3の達成の把握にもつながる。	H25.3	1,516人	H31.3	2,080人	従前に行われた活動参加者数の傾向及び近隣地区のまちづくり活動傾向より推計する。 従前に行われた夜間パトロールについて参加者が2倍となり、また美化活動が活性化されると推計し、整備後のまちづくり活動(通学パトロール+夜間パトロール+美化活動)の目標値として設定する。 ※美化活動: 泉台2人/月、みどり台2人/月 年間参加者数 (2+2)人/月×12ヶ月=48人 目標値: $\frac{1,000}{通学} + \frac{(516*2)+48}{夜間 美化} = 1,000+1,032+48=2,080人/年$	平成30年度中に、計画区域内で行われた市民活動(交通安全や防災・防犯活動、まちづくりに関する活動)への参加者数を、防災課及び都市整備課で把握する活動状況報告において確認する。

■都市再生整備計画「榎戸駅前周辺地区」指標について

指標名	指標の概要	従前値の計測方法	対応する目標			関連する事業	目標との関係	従前値		目標値		目標値の求め方	評価値の計測方法
			①駅及び駅前における交通利便性の改善	②駅周辺における交通、防災・防犯の安全性の向上	③駅周辺における東西間の相互交流の促進			年月	数値	年月	数値		
1	榎戸駅までのアクセス時間	歩行者が、榎戸駅東側の地点から榎戸駅改札口までの移動に費やす時間の短縮を目指す 平成25年8月に、歩行者が、榎戸駅東側の「榎戸駅前第2自転車駐車場(看板地点)」から「榎戸駅(西側)改札口」までの距離を図上で計測し、毎分60mとしてアクセス時間を算出する。 従前値: 331m ÷ 60m/分 = 5.5分	○	△	○	・基幹: 地域生活基盤施設 東西自由通路 ・関連: 榎戸駅橋上化	・東西間の移動時間の短縮は、目標1の駅及び駅前における交通利便性の改善のみならず、東西間交流の促進にも寄与し、目標3のまちづくり活動の活性化にもつながる。	H25.8	6分	H31.3	2分	東西自由通路及び榎戸駅橋上化の計画平面図より、(東側)「榎戸駅前第2自転車駐車場(看板地点)」から「榎戸駅改札口」までの距離を図上で計測し、毎分60mとしてアクセス時間を算出する。 目標値: 107m ÷ 60m/分 = 1.8分	東西自由通路及び榎戸駅橋上化の計画平面図より、(東側)「榎戸駅前第2自転車駐車場(看板地点)」から「榎戸駅改札口」までの距離を図上で計測し、毎分60mとしてアクセス時間を算出する。 評価値: 107m ÷ 60m/分 = 1.8分
2	駅周辺の交通利便性に関する満足度	榎戸駅利用者の利便性に関する満足度の向上を目指す 平成25年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収593名)に対するアンケート調査により、2-1~2-4の問い(3段階評価)に対して、移動の不便や大変さを感じていると答えた人の割合(不満足)を求め、その数字を100から返す。 従前値: 100%-78%(不満足)=22%(満足度)	○			・基幹: 道路 市道104号線 ・基幹: 道路 駅西口広場 ・基幹: 道路 駅東口駅前 ・基幹: 地域生活基盤施設 東西自由通路 ・関連: 榎戸駅橋上化	・アンケートにより、直接的に利便性に関する満足度が目標1の達成の把握にもつながる。	H25.9	22%	H31.3	50%	従前に行われたアンケート結果より推計する。 目標値: 2地区の住民の過半とする	平成30年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収100名以上)に対するアンケート調査により、利便性に関する問い(3段階評価)に対して不便や大変さを感じていると答えた人の割合(不満足)を求め、その数字を100から返す。
3	駅周辺の安全性に関する満足度	榎戸駅利用者の安全性に関する満足度の向上を目指す 平成25年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収100名以上)に対するアンケート調査により、2-5~2-6の問い(3段階評価)に対して、安全性に課題を感じていると答えた人の割合(不満足)を求め、その数字を100から返す。 従前値: 100%-85%(不満足)=15%(満足度)		○		・基幹: 道路 市道104号線 ・基幹: 地域生活基盤施設 東西自由通路 ・関連: 榎戸駅橋上化 ・提案: 地域創造支援事業 防犯灯設置	・アンケートにより、直接的に安全性に関する満足度が目標2の達成の把握につながる。	H25.9	15%	H31.3	50%	従前に行われたアンケート結果より推計する。 目標値: 2地区の住民の過半とする	平成30年9月に、榎戸駅近隣の団地居住者(回収100名以上)に対するアンケート調査により、安全性に関する問い(3段階評価)に対して不便や大変さを感じていると答えた人の割合(不満足)を求め、その数字を100から返す。
4	まちづくり活動参加者数	計画区域内で行われた住民によるまちづくり活動の年間参加者数の増加を目指す 平成24年度中に、計画区域内で行われた住民活動(交通安全や防災・防犯活動、まちづくりに関する活動)への参加者数延べ人数を、防災課及び都市整備課で把握する活動状況報告において確認する。 通学/トロール: 泉台1人/日(20人/月)、みどり台4人/日(80人/月) 夜間/トロール: 泉台10人/週(40人/月)、みどり台3人/月 従前値: (20+40) + (80+3) = 143人/月 = 1,716人/年 泉台 みどり台		○	○	・提案: まちづくり活動推進事業 まちづくり活動支援 防災防犯活動等支援	・安全性に関する活動の参加者数の増減により、関心の度合いが図れるため、目標2の達成の把握につながる。 ・また、市民意識の高まりが、まちの活性化にもつながるため、目標3の達成の把握にもつながる。	H25.3	1,716人	H31.3	2,232人	従前に行われた活動参加者数の傾向より推計する。 従前に行われた夜間/トロールについて、参加者を2倍と推計し整備後のまちづくり活動(通学/トロール+夜間/トロール)の目標値として設定する。 目標値: (20+40*2) + (80+3*2) 泉台 みどり台 = 186人/月 = 2,232人/年	平成30年度中に、計画区域内で行われた市民活動(交通安全や防災・防犯活動、まちづくりに関する活動)への参加者数を、防災課及び都市整備課で把握する活動状況報告において確認する。